

43年の歩みを未来へ

アジアゾウ「ふじ子」

全身骨格標本製作プロジェクト

東公園動物園のふじ子を未来の子どもたちにつなぎたい!

「もう一度、 ふじ子に会いたい」

クラウドファンディング型ふるさと納税

目標金額

1,300万円

募集期間

2月24日(火)～3月31日(火)

ご支援の使い道

- ・全身骨格標本
- ・3Dデジタルコンテンツ
- ・解説展示物 などの製作、設置



さとふる

クラウドファンディング

ご支援はWEBサイトをご覧ください

https://www.satofull.jp/projects/business_detail.php?crowdfunding_id=689

さとふる 東公園動物園 ふじ子



本プロジェクトはAll-in方式です。目標金額に届かなかった場合でも、みなさまからいただいた大切なお支援はすべて、本事業に活用いたします。

集まった金額の規模に応じて、優先度の高い項目から順次着手し、できる限りの工夫を凝らしてプロジェクトを実現いたします。ふじ子への想いを一つも無駄にすることなく、形にしていきたいと思います。

ご支援いただいたみなさまには「お礼品」をご用意(※)させていただいております。

詳細は各裏面またはWEBサイトの「お礼品」をご覧ください。

※ 当クラウドファンディングによる支援は岡崎市への寄付に該当するため、ふるさと納税と同様、岡崎市にお住まいの方は「お礼品」を提供できません。

お問い合わせ先

岡崎市動物総合センター (東公園動物園)
〒444-0011 岡崎市欠町字大山田1番地

☎0564-27-0456 /

✉animo@city.okazaki.lg.jp

～43年の歩みを未来へ。アジアゾウ「ふじ子」全身骨格製作プロジェクト～



東公園動物園は1983年の開園以来「無料でゾウに会える動物園」として、また小さなお子さん連れのご家族から、お散歩に来られるご高齢のかたまで幅広い年齢層のかたが毎日訪れる「当たり前そこに動物園」として親しまれてきました。そんな動物園で一番の人気者だったのがアジアゾウのふじ子です。

ふじ子は動物園開園の半年前に広島県から岡崎にやってきました。開園後すぐに人気者となって43年、東公園動物園の象徴として多くのかたに親しまれ、愛されてきました。東公園動物園に行けばふじ子に会える。それは特別なことではなく日常で当たり前光景でした。

しかし2025年7月30日、ふじ子は起立不能による循環不全のため、57歳でその生涯を閉じました。いつもいることが当たり前だと思っていたふじ子の姿は、もうどこにもありません。

『もう一度、ふじ子に会いたい』『ありがとうを伝えたい』

ふじ子が旅立った後、みなさまから寄せられたこの想いを形にするために立ち上げたのが、ふじ子を「全身骨格標本」という姿でよみがえらせ、再びゾウ舎に迎え入れる今回のプロジェクトです。

ふじ子にいつでも会えるように、ふじ子が生きた証として全身骨格標本を残すことは、ただその姿を留めるだけではなく、ふじ子が歩んできた43年の軌跡を、ふじ子という存在を知らない未来の子もたちへ「命の教科書」として繋いでいくことでもあります。



【いただいたご支援で実現したいこと】

～誰もがもう一度ふじ子に会えるよう、ふじ子の全身骨格標本を製作・展示～

みなさまの力をお借りして、ふじ子は再びこの場所へ帰ってきます。これからも「当たり前そこに動物園」この場所でふじ子と一緒に歩み続けていくために、みなさまの温かいご支援を、心よりお願い申し上げます。

①全身骨格標本製作

標本は生体では知りえない様々なことを私たちに教えてくれます。特にゾウのような大型動物の全身骨格標本は数が少ないため学術的にも重要な意味を持ちます。完成した骨格標本は、広くみなさまに公開し、学習やレクリエーション活動などの題材としてはもちろん「ふじ子の存在」をそこに感じるとともに、ゾウという動物の体の大きさを間近で見ることができます。



骨格標本イメージ
(静岡市日本平動物園)

②3Dデジタルコンテンツの製作・活用

3Dデータからふじ子の骨の形や関節の動き方などを映像化し、体の構造を分かりやすく学べるよう展示します。さらに、様々なサイズのレプリカを製作し、触ることができる標本として動物園でのイベントやガイド、学校の授業などに活用していきます。特に視覚に障がいを持つ特別支援学校の児童、生徒への教材として社会福祉的にも大きな効果が期待できます。



©2026 一般社団法人 路上博物館

③ふじ子が暮らしたゾウ舎に展示

ゾウは野生では生息数が減少し、絶滅が懸念されています。動物園でゾウを飼育するには、オスとメスのペアとその子たちを複数頭飼育できる施設でなければならず、東公園動物園のゾウ舎はゾウを1頭しか飼育できないため、今後新たにゾウを導入することは叶いません。

そこで、ふじ子が暮らしたゾウ舎に「骨格標本」「3Dデジタルコンテンツ」「ふじ子の歩んだ歴史」などを展示し、大人から子どもまで誰もが「いつでもふじ子に会える場」として「気軽に学習できる拠点」として有効活用していきます。



ご支援方法①

クラウドファンディング型 ふるさと納税で支援する

クラウドファンディングウェブサイト（さとふるクラウドファンディング）から支援金別の「お礼品」を選択し、ご支援いただけます。ふるさと納税と同様、岡崎市への寄附に該当するため、「お礼品」の有無に関わらず手続きを行うことで税制上の優遇措置の対象となります。

ご支援① WEBサイトをご覧ください

さとふるクラウドファンディングサイトのプロジェクトページからご支援いただけます。

https://www.satofull.jp/projects/business_detail.php?crowdfunding_id=689

さとふる 東公園動物園 ふじ子



ご支援方法②

寄附申込書で支援する

東公園動物園では、動物福祉・住環境向上・教育プログラムの充実のため、個人・法人のみなさまからの寄附を募集しております。

岡崎市への寄附に該当するため、個人は「寄附金控除対象」となり、法人は「法人税法上支出額の全額を損金算入の対象」となります。お申し込みは「寄附申込書」で承ります。地域の未来を創るパートナーとして、温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

ご支援② 寄附申し込み書のご案内

東公園動物園ホームページ内の「一般（現金）寄附」ページからお申し込みいただけます。

<https://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1562/1617/p045061.html>

東公園動物園 寄附申込書

